

平成28年度 租税教育に関する研究発表要項

亘理町立長瀬小学校
教諭 武田 清美

1 研究主題

税に対する興味・関心を高め、税の意義や役割を理解しようとする児童の育成
～税について児童自ら課題をもち、調べる活動を展開する学習から～

2 主題設定の理由

本校では、第6学年の総合的な学習の時間に、社会環境をテーマとして「見つめようわたしたちの暮らし」という単元があり、「地球環境問題について調べよう」と「税金について調べよう」の2つの学習活動を設定している。

昨今、消費税の増税や東京オリンピックの開催費用について、税金の無駄遣いの問題など、税金に関わるニュースをテレビや新聞などで目にする事が多い。子どもたちも「税金」という言葉は何度も見聞きしているものの、正しい知識を身に付けている児童は少ない。また、税金は「取られるもの」というマイナスのイメージがあり、「納めるもの」という認識はほとんどないことから、税金の意義や役割を学習することは大切なことであると考え。そこで、税金について児童自ら課題をもち、調べる学習を展開することで、税金に対する興味関心を高め、更に税金の意義や役割を理解し、正しく納めようとする態度を育てることができないかと考え、本主題を設定した。

3 研究目標

税金に対する興味関心を高め、税金の意義や役割を理解し、正しく納めようとする態度を育成する指導の在り方を探る。

4 研究の方法

- (1) 税金に対する意識調査を行い、実態を把握する。
- (2) 租税教室を通し、税金についての意義や役割を理解させる。
- (3) 税金に関する授業を展開し、さらに興味を高めさせる。
- (4) 個人で課題を設定し、インターネット等を活用して調べ、新聞にまとめる。
- (5) 発表会を行い、さらに理解を深める。
- (6) 事後調査を行い、変容を考察する。

5 研究の計画

平成28年 1月 (5学年時)	意識調査 租税教室①
平成28年 7月 9月 10月 11月 (6学年時)	実態調査 租税教室② 実践授業 事後調査 研究のまとめ 研究発表会

6 研究の概要

(1) 意識調査 (平成27年度 5年1組 男21名 女10名 計31名)

<p>税に対するアンケート</p> <p style="text-align: right;">平成27年1月実施</p>	
① 税金という言葉を知っていますか。	ある…29名 ない…2名
② 税金にはどんなものがあるか知っていれば書いてください。(複数回答)	消費税17 無解答11 酒税 たばこ税 総理大臣に渡すお金 ガソリン 銀行で休みの日に下ろしたときにかかる 借金税? 国の税金 車の税金 車やバイクのローン 車検 株価税 納税 税込み 税抜き
③ 「税金」からイメージすることは何ですか。(複数回答)	無解答14 お金4 いろんな物が値上がりする4 国のために使われる3 高い 払わないと家の物が押収 日本の借金を返す 払わなきゃいけない 別に取りられる 警察にいる人に使う 良いことと悪いことに使われていそう 借金 英語でタックス
④ 税金を払う人はだれですか。(複数回答)	分からない8 親8 消費者5 大人4 国民2 働いている人 一般人 母 家庭の一番上の人 家の人 国 お店の人
⑤ 税金はどんなことに使われると思いますか。(複数回答)	分からない10 国のため7 外国のため2 天皇2 国の建築2 教科書 体の不自由な人の薬や手術 刑務所に入っている人 日本の借金を返すため 年寄り がんばっている人のため ボランティア 物を買うとき 国民 利益 政治?

⑥ 税金は必要だと思いますか。

必要… 5 ・外国から借りているお金を返すため 2

- ・ほとんど外国からの輸入に頼っていて税金がないと借金が返せないから
- ・国の土地を返すため ・教科書がないと勉強できないから

どちらかといえば必要… 4 ・体の不自由な人が困るから ・国が成り立たないと思うから
 ・日本と外国との関わりでお金を使うから
 ・国や県で必要な物をみんなのお金で購入することができるから

必要ない… 4 ・物の値段が上がるから 2 ・なぜ払う必要があるか意味不明
 ・もらった人は得をし、払った人は得をしないから

分からない… 1 8 ・税金の意味が分からない 8
 ・どんなことに使われているか分からない 2

⑦ お家で税について話題にしたことがありますか。

ある… 1 1 ・消費税の話題 6 ・税金が高いと言っていた 2 ・車の話題の時 2
 ない… 2 0

【考察】

- ・税金という言葉を知ったことがあっても、正しく認識している児童は大変少ないということが分かった。
- ・全体的に、無解答や「分からない」という解答が多く、「税金」そのものの認識がない児童が多いということが分かった。
- ・生活に密着している消費税については半数以上が意識していたが、銀行の手数料やローンなどを税金の一種と考えている児童も見られた。
- ・消費税のイメージが強いためか、「物が値上がりする」「別にとられる」というマイナスの考えをもつ児童が見られた一方で、「国のために使われている」等、国との関わりを意識している児童も見られた。
- ・家庭内で「税」について話題にしたことがある児童は、三分の一ほどであった。
 以上のような児童の実態を踏まえ、まずは「税金とは何か」を知ることが第一であり、どのように使われ私たちの生活を支えているのかを理解させていきたい。また、家庭でも気軽に話題にできるような学習を展開していきたい。

(2) 指導計画

5 学年時 (学級活動 1 時間扱い)

段 階	主な学習内容	時 間
意識調査	・アンケートを実施し、児童の実態を把握する。	
①租税教室	・税金について知り、興味・関心を高める。	1

6 学年時（総合的な学習の時間 10 時間扱い）

段 階	主な学習内容	時 間
②事前調査	・昨年度の租税教室を受けての児童の実態を把握する。	
③税金について知ろう	・租税教室で税の種類や用途等について知る。	1
	・亘理町の今年度の予算や長瀨小学校に使われた復旧費について知る。	1
	・税金の集め方について知る。	1
④税金について調べよう	・さらに詳しく調べたいと思ったことについて課題を設定する。	1
	・課題について資料やインターネットなどを活用したり、取材したりして調べる。	2
	・調べたことを新聞にまとめる。	2
⑤調べたことを伝えよう	・発表会を行い、調べた内容を友達同士で共有し合う。	2
事後調査	・児童の税についての変容をみる。	

(3) 実践の概要

【5 学年時】

①租税教室（平成28年1月28日）

仙台南間税会の方々にお出でいただき、基礎的な税金の役割について詳しく教えていただいた。また、DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」の視聴により、税金がないとどんな世の中になってしまうかを知ることができ、税金の必要性を感じていた。さらに、1億円のレプリカを持ち、その重さを体感することで、お金に関する興味・関心を高めていた。



税金が使われているものは何だろうか？



1億円のレプリカの重みを感じる児童達。



【6学年時】

②事前調査（平成28年度 6年1組 男21名 女10名 計31名）

税に対する事前調査

平成28年7月実施

質問1 税金は必要ですか。 ①はい 30名 ②いいえ 1名

質問2 なぜそう思うのですか。

- ①→ ・分からない1 ・ないと困るから13
・いろいろなものにお金がかかるから11 ・安心平和だから2
・国のお金だから ・病院などが建てられるから ・緊急の時のため
②→ ・金額が高くなるから

質問3 どんな種類がありますか。（複数回答） ・分からない6

- ・消費税23 ・車税3 ・たばこ税2 ・酒税2 ・所得税
・食費税 ・国のお金 ・脱税 ・家のローン

質問4 税金は、何に使われますか。（複数回答） 分からない6

- ・警察や消防10 ・国で使う6 ・公園や道路3 ・信号3 ・通行費2
・病院や役所を建てる2 ・学校や教科書 ・土地 ・消費税

質問5 詳しく調べてみたいことはどんなことですか。

- ・税金の種類 ・税金を使う人払う人 ・税金は何に使われているのか。
・なぜ消費税が上がるのか。 ・なぜ税金ができたのか。

税金については、昨年度の「租税教室」を通し、「税金とは何か」「何に使われているか」「税金がないとどうなるか」を学習しているので、ほとんどの児童が必要を感じていた。その理由で「ないと困る」「お金がかかる」と答えている児童の中には、「救急車を呼ぶのにお金がかかる」のように具体的な用途を記述した児童もいた。しかし、税金の種類や使い道については「分からない」と答えている児童も見られ、中には、税金の種類に「脱税」や「家のローン」と記述した児童もいた。以上のような児童の実態から、「租税教室」等の学習を通して、税についての正しい知識を理解させる必要があると考えた。

③税金について知ろう（3時間）

【1時間目】租税教室（平成28年9月6日）

〈学習内容〉・税の種類や用途等について知る。

仙台南税務署の島脇さんより、事前調査で子どもたちが「詳しく調べてみたいこと」で

挙げた「税金の種類」「税金の使い道」「なぜ消費税が上がるのか」という内容に答える形で詳しくお話をしていただいた。

保護者の方にもぜひ参加してほしいと思いお便りで知らせたが、学年PTA行事と重なったこともあり、たった2名の参加者しかおらず、残念であった。



子供たちと保護者の感想より

どうして税金は上がるのかななどをくわしく教えてもらってよく分かりました。税の種類が50種類もあるということがびっくりしました。聞いたことがないものもあったし、その仕事についている人でも覚えるのが難しいということで、とても大変なんだと思いました。もっと税金に興味をもってたくさん勉強したいです。(児)

税金はいろいろな種類があってとてもすごいと思いました。税金を払うのは大変だけれど、いろいろなことに役立てられているので大切だと思いました。(児)

今日、租税教室を受けて、やっぱり税は大切だなと思いました。去年話を聞くまでは税の使い方などをよく分かってなかったけど、去年と今年で改めて大事だと分かりました。(児)

高齢者が増えて税金がものすごくかかっていることと、国は高額な借金をしていることが分かりました。(児)

大人にとっては当たり前の「税金」ですが、子供向けのビデオなどで分かりやすく教えていただけていました。家庭で話題にすることも少ないので、よい経験になったと思います。(親)

身近な消費税の使い道など、小学生のうちから「税金」に触れることはとても良いことだと思いました。(親)

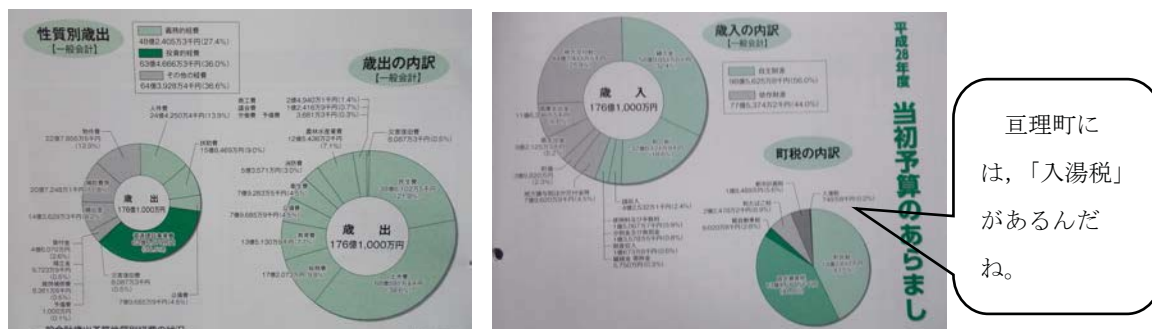
【2時間目】

〈学習内容〉・亘理町の今年度の予算や長瀨小学校に使われた復旧費について知る。

我が校は、震災の被災校であり、新校舎の建設や周辺環境の整備をはじめ、町の復興のために多額の税金が使われていることも理解させたいと考えた。そこで、長瀨小学校の建設にかかった費用は、約11億円であることを理解させた。

また、「広報わたり」を活用し、28年度の予算のあらましから、町税の内訳やどんなことに支出されているのかを調べ、話し合った。「災害復旧費」よりも「教育費」にかけられるお金の方が多く、驚いていた。自分たちのためにたくさんのお金が使われていることを知り、

校舎や学校の物を大切にしようという気持ちが高まっていた。



【3時間目】

〈学習内容〉・税金の集め方について知る。

日本税理士会連合会で作成している「小学生向け講義用テキスト」を参照し、指導主事訪問に向けて、下記の指導過程を作成した。

指導に当たっては、以下のことに留意しながら授業を展開するようにした。

- ①「私たちが主人公」「思いやり」というキーワードと税金がどんなつながりをもっているかを一緒に考えながら進行させる。
- ②税金が私たちの生活を支えてくれる、なくてはならないものであり、私たちのために使われていることを確認する。
- ③税金を負担しているのが私たちであること、いろいろな集め方があることを確認する。
- ④ゲームを通して、児童に「課税の公平」について考えさせることにより、税金の主体者は私たちであることを体感させる。
- ⑤志教育との関連…「税金は私たちが支え、私たちが決めていく」こと、お互いを思いやる気持ちを大切にすることで、税が一層、社会のために役立つものになることを押さえさせる。【はたす】

段階	主な学習活動と児童の反応	指導上の留意点	5つの提言	準備物 *評価
導入	<p>1 本時のテーマを知る。</p> <p>私たちが主人公</p> <p>思いやり</p> <p>主人公って どういうこと？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「私たちが主人公」「思いやり」の二つのキーワードを板書し、「税金」とこれらの言葉がどのようなつながりをもつのかを一緒に考えていくことを伝える。 		キーワード
展開	<p>2 税金の使われ方を確認する。</p> <p>○私たちが生活していく上で必要な物は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家、食べ物、服など ・お金 	<ul style="list-style-type: none"> 私たちが生活していくためには、「お金がかかること」、そのお金を得るためには「働く必要があること」を確認する。 	2	掲示物

<p>展 開</p>	<p>○お金を払わずに使ったり，お世話になったりしているものにはどんなものがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校，公園，警察，消防など <p>3 税金の集め方について知る。</p> <p>○税金は誰から集めているのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな ・私たち <p>○消費税の他にどんな税がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所得税 ・たばこ税 ・酒税 ・重量税 ・法人税 など <p>4 税金の公平な集め方ゲームをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈ゲームの概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このクラスを「武田国」とし，児童はその国の国民とする。 ・国民を6つの班に分ける。 ・6つの班の収入の合計を600万円とし，そのうち税金を180万円集めるとする。 ・いくらずつ集めればよいか考える。 ・「公平」に集めるよう考える。 </div> <p>(1) みんなから同じ金額を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つの班で180万円あつめるのだから，各班30万円。 ・みんな同額なので「公平」 ・消費税は8%。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これらに共通することを考えさせ，「みんなで使うもの」に使われているのが税金であることを確認する。 ・「消費税」は買い物をした人みんなが払う税金であることから，「私たち」から集めていることを確認する。 ・税金にはいろいろな集め方があるって，私たちから様々な方法で集めていることを確認する。 ・「税金は私たちから集めて私たちのために使われている」という大きな仕組みをしっかりと押さえさせる。 ・収入の異なるグループから，どのようにして税金を公平に集めるかをみんなで考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 10px auto; text-align: center; line-height: 20px;">1</div> <ul style="list-style-type: none"> ・各班の収入が同額（各100万円）のケースで考えさせる。 ・30万円は100万円の30%という答えを導き出し，「税率」という概念を説明する。 	<p>掲示物</p> <p>例題用紙 ホワイトボード マーカー 計算機</p>
----------------	--	--	---

<p>展 開</p>	<p>(2) みんなから同じ率で集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 30万円ずつだと払えない班が出てくる。 ・ 「同率30%」で集めてはどうか。 ・ みんな同率なので「公平」 <p>(3) 負担する能力に応じて集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活できない班が出てくる。 ・ 収入が多い班にはより多く負担してもらったらどうか。 <p>○これは公平だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たくさん持っている人がたくさん払うのは公平じゃない。 ・ 全部の班が生活できるのだから公平。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実社会では収入に違いがあるので、それぞれの班に異なる収入を割り振って考えさせる。 ・ 「この国で生活をするためには、最低20万円が必要である」という条件を付け足して考えさせる。 ・ 意見がでなければ、班ごとに税率を変えることを提案する。 ・ 様々な意見が出てても意見を否定せず、それぞれの考え方、感じ方があることを伝える。 ・ 「負担する能力に応じて公平」という考え方を話し、これが今の日本の所得税の考え方であることを伝える。 ・ 所得税は、所得が低い人への配慮（思いやり）があることを理解させる。 <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px; margin-left: auto; margin-right: auto; text-align: center;">2</div>	<p>* 「課税の公平」について考え、税金の主体者は私たちであることを理解することができたか。(行動観察・発言)</p>
<p>終 末</p>	<p>5 キーワードと税金との関係についてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「税金は私たちが支え、私たちが決めていく」こと、お互いを思いやる気持ちを大切にすることで、税が一層、社会のために役立つものになることを押さえさせる。 <p style="text-align: center;">【はたす】</p>	<p>掲示物</p>

終末	6 次時の予告を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・「国民主権」という言葉を知らせ、今後社会でも詳しく学習していくことを伝える。 ・もっと調べてみたいことを考え、課題を決定することを伝える。 	
----	-------------	---	--



収入が少ないのに、たくさんの税金を納めるのは大変だ。生活できない。

武田国の 所得税

	収入	税率	税額
1班	250万円	40%	100万円
2班	150万円	35%	52.5万円
3班	100万円	20%	20万円
4班	50万円	15%	7.5万円
5班	30万円	10%	3万円
6班	20万円	0%	0万円
合計	600万円		183万円

負担する能力に応じて公平

④税金について調べよう（5時間）

【1時間目】

〈学習内容〉・さらに詳しく調べたいと思ったことについて課題を設定する。

「税金新聞」という形でまとめることを知らせた。その際、他校の児童が作成した新聞を数点例示し、参考にさせるようにした。

主な課題は以下の通りである。

- ・税金の種類 ・税金の使い道 ・税金の歴史 ・世界の消費税
- ・世界の変わった税金 ・税金の集め方

【2・3時間目】

〈学習内容〉・課題について資料やインターネットなどを活用したり、取材したりして調べる。

主にインターネットを活用しての調べ学習となった。児童が参考としたホームページは、「国税庁ホームページ 税の学習コーナー」「財務省キッズコーナー ファイナンスランド」等である。調べていく過程で、新たに調べたいことが見つかった児童もおり、更に興味・関心を深めていく様子が見られた。

【4・5時間目】

〈学習内容〉・調べたことを新聞にまとめる。

これまでもいろいろな教科で新聞にまとめる活動を行ってきたので、特に混乱することもなくまとめの新聞を作成していた。



⑤調べたことを伝えよう。(2時間)

〈学習内容〉・発表会を行い、調べた内容を友達同士で共有し合う。

個人で作成した新聞を、実物投影機で拡大し、友達と共有しながら発表会を行った。友達の発表を聞いて、「税金は弥生時代からあったと知ってびっくりした。」のような内容に関するものだけでなく、「グラフや4コマまんがを使って分かりやすくまとめていた。」のような新聞の出来映えに関する感想をもつ児童も見られた。

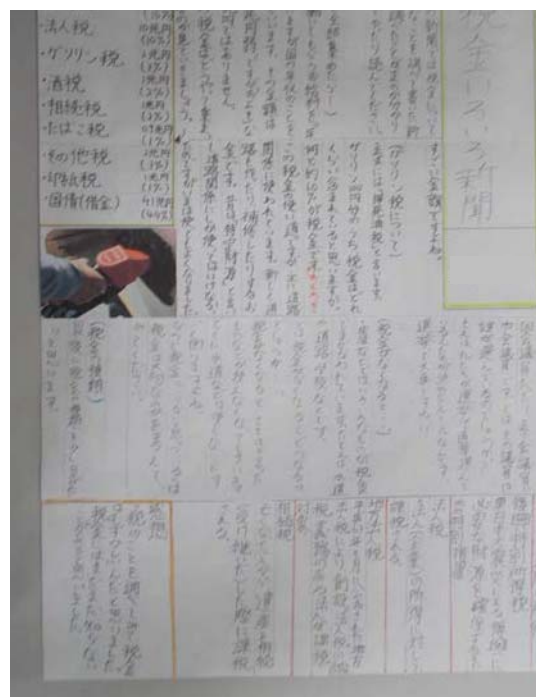
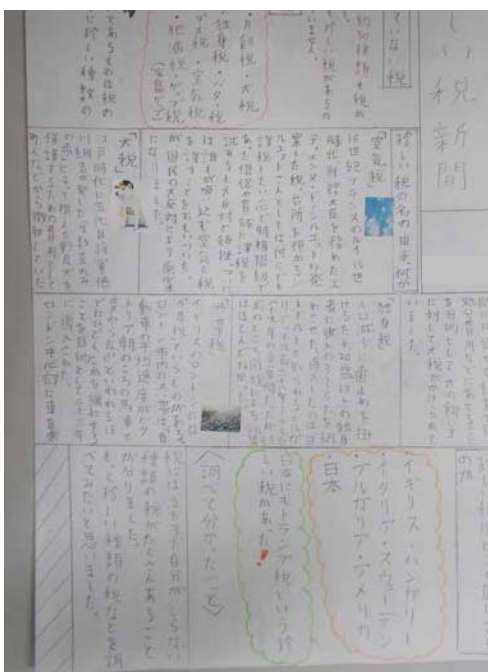
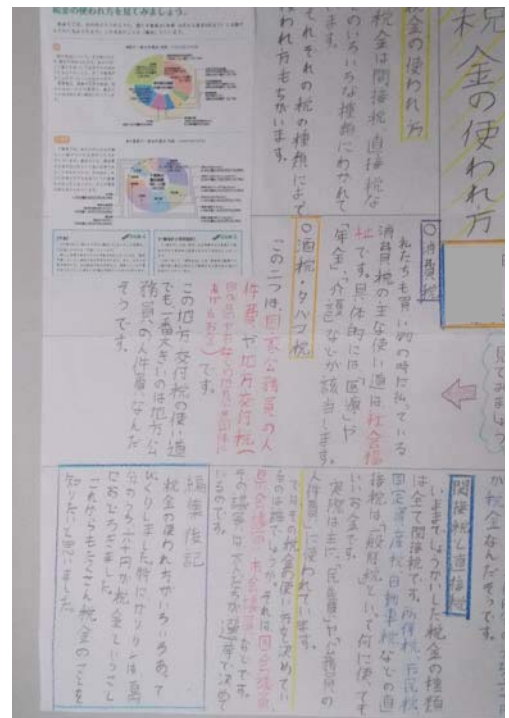


実物
投影機



新聞を拡大したことで、みんなで共有しながら進めることができました。

児童が作成した新聞より



○税金は必要だと思いますか。

	事前調査（5学年時）	事後調査
必要	5名	30名
どちらかという必要	4名	1名
必要ではない	4名	0名
分からない	18名	0名

○学習後の児童の感想

みんなの発表を聞いて、税金は国、人、他にもたくさんの物に役立っているんだなと思いました。税金のおかげで、道路など生活に必要な物がつくられていて、ありがたいと思いました。自分が払った税金が、国や人の役に立ててうれしいです。税金のありがたさがよく分かりました。

税金のことをあまり知らないと、値段が高いとか思うけど、こうやって勉強してみて、税金はとても大切ということが分かりました。税金の種類はとても多くてびっくりしました。外国では、ふつうじゃありえないような税もあってびっくりしました。

税金を調べてみて、税金はとても大切なんだと分かりました。今まで、選挙なんてどうでもいいと思っていたのですが、選挙も大事だと分かりました。

税金のことを調べてみて、聞いたことのない名前の税があった。やはり、自分たちの身近な税は「消費税」だと感じた。そして外国と比べてみると、日本の消費税は少ないと思う。いろいろ調べて、税金はとても大切だと分かった。そして「物を大切にしよう」という思いが強くなった。

私は税金の学習をして、これからの未来が心配になってきました。最初は税金なんか知らないなあと感じていましたが、この学習をして税金がとても必要だということが感じられました。そして「公共サービス」のことがとても身近に感じられました。

税金の勉強を通して思ったことは、自分たちが使っている物（学校の物）が税金のおかげでただで使用できるので、物を大切にしていきたいと思いました。たまにニュースで税金を払わない人などを見るけど、きちんと払ってほしいと思います。

新聞を作ってみて、税金がすごく大切なものだと分かりました。身の周りにあるたくさんの税金が使われた物などを大切にしていきたいと思います。18才以上の人が選挙権をもてるそうなので、私も18才になったら行こうと思います。これからも税金を大事にして、たくさん調べていきたいです。

みんなの発表を聞いて、税金の使い道や歴史が分かりました。ぼくは、税金の種類を調べていろいろな税金を知れてよかったです。大人になったら、多くの税金を払わなければならないことも知りました。

7 研究のまとめと課題

(1) 成果

- ・総合的な学習の時間に位置づけたことで、学習時間を確保できた。
- ・朝会の校長講話の中でお話しいただいたことで、6年生だけではなく、低学年も「税金」という言葉に触れることができた。
- ・租税教室を2回実施したことで、より理解が深まった。1回目は「税金とは何か」を理解させ、2回目は「さらに調べてみたいこと」で疑問に思ったことを解決することができた。
- ・実践授業で自分たちの学校にたくさんのお金（税金）が使われていることを知らせたことで、「大切に使おう」という意識が高まった。
- ・税について自ら課題をもち、調べる活動を展開する学習により、興味・関心を高め、税がどのように使われ私たちの生活を支えているのかを理解させることができた。

(2) 課題

- ・調べ学習をする上で、参考となる資料や図書等をもっと準備できればよかった。
- ・6年生の総合的な学習の中に位置づけたが、他の学年との系統性という意味ではまだまだ課題が見られる。

8 今後の展望

- ・11月後半の授業参観で、今回学習して分かったことを保護者に向けて発表する予定である。そして、家庭でも更に話題にしてもらいたいと思っている。
- ・これから学習する社会「わたしたちの生活と政治」の中で、わたしたちの願いをかなえるために税金が使われているということも学習し、将来の納税者としての意識も育んでいこうと考えている。